

## アルジェリア政治・経済月例報告 (2017年10月)

平成29年12月  
在アルジェリア日本国大使館

### 1 内政

- 2日～31日, 18歳に達した者の新規登録等, 選挙人名簿の見直しを実施。
- 4日, ブーテフリカ大統領は閣議を主宰し, 2018年予算法案等を承認。
- 4日, ダルバール独立高等選挙監督機関長が, 地方議会選挙実施における法律条項の遵守等について講演。
- 18日, ブーテフリカ大統領, ブラヒミ元外相の表敬を受ける。
- 18日, ウーヤヒヤ首相, 2000年以来, 政府は国民生活改善のため360兆ディナールを歳出していると経営者フォーラム大学にて講演。

### 2 外交

- 5日, ウーヤヒヤ首相, カタールのアブドゥラー首相兼内相と両国間協力に関する電話会談。
- 9～10日, メドヴェージェフ露首相が来訪し, ブーテフリカ大統領, ベンサラ国民評議会議長, ブハジャ国民議会議長及びウーヤヒヤ首相とそれぞれ会談。司法, 保健, 人材育成, 炭化水素, 原子力エネルギー, 医薬品分野における相互協力協定に調印。
- 19日, メサヘル外務大臣はモグリーニEU外務・安全保障政策上級代表と第1回アルジェリアEU地域安全保障ハイレベル対話(於, ブリュッセル)に出席。第2回対話を6か月以内にアルジェにて開催することに合意。
- 23～24日, メサヘル外務大臣, グローバル・テロ対策フォーラム(GCTF)第1回西アフリカ地域作業部会会合を開催(カナダとの共催)。
- 25日, メサヘル外務大臣, GCTFの枠組みによる国境を越えた組織犯罪とテロとの関係に対処するイニシアチブを巡る第1回地域会合のアルジェにおける開会式にて演説(オランダとの共催)。

### 3 治安

- 1日, ベジャイア県にて, 軍はブイラ県を中心とする森林地帯で活動していたテロリスト5人を殺害し銃器を押収。
- 10日, ティアレット警察本部前における自爆テロ事件の捜査の一環で, 憲兵隊は捜査を県外に広げ, メデア県, ジェルファ県及びバトナ県の出身者4人を逮捕。
- 17日, ティアレット県において, 軍は情報に基づき, テログループ支援者2人(8月

のティアレット警察本部前における自爆テロ事件の関係者で、2人を含めこれまでに12人を逮捕)を逮捕。

- 22日～24日、ジジェル県において、軍は掃討作戦を展開し、計テロリスト5人殺害、2人逮捕(女性1人)、テロリスト妻5人逮捕、カラシニコフ小機関銃6丁、自動拳銃2丁、弾薬多数を押収。
- 22日、バトナ県において、軍はテロリスト1人(AQMI下部組織エスアファの指導者)を逮捕し、カラシニコフ小機関銃丁、弾筒3個と手榴弾1個を押収。
- 25日、バトナ県において、軍は情報に基づきテロリスト1人(A. SAMI)を逮捕。
- 26日、エル・ウェッド県において、軍は麻薬取引と関係するテロリストとして手配されていたG. モハメド・ファレスを逮捕。

#### 4 経済

- 5日、ウーヤヒヤ首相は首相府のポータルサイト上で炭化水素法の改正を進めることを明言。一方で、いわゆる「51/49」規制を含む、国家主権に関わる事柄については改正しないと発言。
- 9-10日、メドベージェフ露首相がアルジェリアを公式訪問し、保健、職業訓練分野における行政プログラムの協力協定、ソナトラック社とトランスネフチ社の中で炭化水素の配管と運搬分野における協力に関する覚書、原子力エネルギーについての覚書等が両国によって締結。
- 10日、中央銀行が政府から債券を直接購入することを例外的措置として5年の期限付で認めることを盛り込んだ、通貨と信用取引に関する法律が国民議会で賛成多数で可決。
- 11日、国家統計局(ONS)は昨年同時期と比べた2017年第二四半期の国内総生産の成長率を1.5%と発表。炭化水素部門以外の成長率は2.1%。また、一般物価水準は4.4%上昇。
- 12-16日、ラウイア財務大臣がワシントンで開かれたIMF及び世界銀行の年次総会のG24会合に出席。また、世界銀行副総裁らと会談し、アルジェリアの「非慣習的な」(non conventionnel) 財政政策について説明。
- 16日、国家炭化水素資源活用庁(ALNAFT)は、石油産業の上流部門での投資を促進するための公開イベントを国際会議センターで開催。出席したギトゥーニ・エネルギー大臣は市場の現状に適応した柔軟性のある法令や税制の改革を行うと発言。
- 17日、カッドゥール・ソナトラック社会長はロンドンで行われた会議で、同社が新しい輸出戦略に基づき、天然ガス販売のために設立するジョイント企業の海外パートナーを求めていることを明らかにした。また、多くが2021年で終了する欧州のパートナー企業との長期契約を見直す考えがあるとも発言。
- 19日、ラウイア財務大臣は、今後三年のドルとディナールの為替レートが1ドルあたり115ディナール以下となるとの予測のもと2018年予算法案を策定したことを明ら

かにした。

- 22日、ラウイヤ財務大臣はアルジェリアの外貨準備高が2018年末までに852億ドルに、さらに2020年末には762億ドルにまで減少するという見込みを明らかにした。また、国庫が必要とする資金調達額を2017年5700億ディナール、2018年1兆8千150億ディナール、2019年5800億ディナールと発表。
- 22日、2017年1-9月期の貿易赤字が前年同期比で38%減少の81億4千万ドルと発表。輸出が前年比18.2%増の257億8千万ドル、輸入が2.89%減の333億2千万ドル。
- 26日、ユースフィー産業・鉱業大臣は国民評議会の財政・予算委員会で「アルジェリアで活動する大手自動車メーカー」に向けた自動車組み立てに関する新しい仕様書を数週間内に発表すると発言。
- 26日、ギトゥーニ・エネルギー大臣は国民評議会の財政・予算委員会で2017年から2021年にかけて炭化水素分野に780億ドルが投資され、大半は探査と開発に充てられると発言。
- 26日、ベンメラディ商業大臣は国民評議会の財政・予算委員会で、国内産業の保護のため輸入規制を強化し、2017年の年間輸入高を410億ドルに抑え、さらに2018年にはそれを300億ドルに減少させるという目標を発表。

## 5 日本との関係

- 10日、藤原大使はシアフィフ国民議会外務・協力・移民委員長を表敬。12日、当地の仏語・アラビア語各紙が会談の内容を報じた。
- 11日、藤原大使はアルジェリア商工会議所（CACI）において開催された「ジャパン・ビジネスデー」と第4回日アルジェリア・ビジネスクラブ会合に出席。12日、当地仏語・アラビア語各紙が「ジャパン・ビジネスデー」について報じた。
- 16日、藤原大使は「日本の対北アフリカ中東政策の新たな動き」と題する大使レターを発出し、24日付エル・ムジャヒド紙、30日付レクスプレッション紙（以上仏語紙）、25日付アラビア語シャアブ紙等が内容を報じた。
- 24日、エル・ビラッド紙（アラビア語紙）が藤原大使のインタビュー記事を掲載した。また、25日のフランス語紙レクスプレッション紙が内容を報じた。
- 26日、アルジェリー・エコ誌（アラビア語経済誌）が同誌ウェブサイト上に藤原大使のインタビュー記事を掲載。
- 22-26日、文化宮殿において「ジャパン・ウィーク “祭”」が開催され、マンガ・アニメ、和食、茶道、書道、柔道等様々な日本文化が紹介された。最終日には当地において初めての開催となる日本語弁論大会も行われた。また、当地の複数のメディアが様子を伝えた。

<アルジェリア要人の外国訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
10月4日	ロシア	ギトゥーニ・エネルギー大臣	第19回ガス輸出国フォーラム閣僚級会合に出席
10月9日	アルゼンチン	フェラウン郵便・情報通信・技術・デジタル大臣	国際電気通信連合の世界通信開発会議に参加。
10月12日	モーリタニア	メサヘル外務大臣	サヘル諸国歴訪の一環で、アブデル・アジズ大統領を表敬
10月13日	チャド	メサヘル外務大臣	デビー・イトゥノ大統領を表敬
10月13～15日	マリ	メサヘル外務大臣	ジョップ外相と会談。西アフリカ及びサヘル地域安全保障セミナーに出席。ケイタ大統領を表敬
10月14～16日	米国	ラウイア財務大臣	ガーネム世界銀行副総裁、ポラシク米 국무省アフリカ近東部長（元駐アルジェリア大使）と会談
10月15～16日	エチオピア	メサヘル外務大臣	AU閣僚執行理事会臨時会合に出席。ムーサ・ファキAU委員長と会談
10月15日	ロシア	ベンサラ国民議会議長	第137回列国議会同盟総会に出席。シヤノン・ケベック州議会議長らと会談
10月17日	ニジェール	メサヘル外務大臣	サヘル諸国歴訪の一環で、マハマドゥ大統領を表敬
10月19日	ベルギー	メサヘル外務大臣	タヤーニ欧州議会議長、モゲリーニEU

			外務・安全保障政策 上級代表と会談
10月25～26日	英国	ラウイア財務大臣	金融サービスに関する アルジェリア・英 セミナー出席
10月26日	ベルギー	ハジャル高等教育・ 科学研究大臣	水資源と食料生産に 関する研究のパート ナーシップ強化に係 るEUとの合意に署 名

<外国要人のアルジェリア訪問>

日付	国	氏名・肩書き	目的
10月2日	イラク	アッ＝ターイー情 報・調査担当内務次 官（少将）	ベドゥイ内務・地方 自治・国土整備大臣、 ハメル警察長官と会 談
10月3日	ベネズエラ	マドゥロ大統領	ベンサラ国民議会議 長と会談
10月7日	ベネズエラ	マドゥロ大統領	ベンサラ国民議会議 長と会談
10月9日	オマーン	アル・サニディー商 務・産業大臣	ウーヤヒヤ首相を表 敬，ユースフィー産 業・鉱業大臣と会談
10月10日	ロシア	メドヴェージェフ首 相	ブーテフリカ大統 領，ウーヤヒヤ首相 他と会談。
10月14日	ニジェール	ボト観光大臣	メルムリ観光・手工 業大臣と会談
10月18日	サウジアラビア	アル＝ファーレフ・ エネルギー産業鉱物 資源大臣	ウーヤヒヤ首相を表 敬
10月22～23日	国連	ケーラー国連西サハ ラ特使	ブーテフリカ大統 領，ウーヤヒヤ首相， メサヘル外務大臣と 会談

10月22～24日	ナミビア	ナンディー・ナディ トゥワー副首相兼国 際関係・協力大臣	ウーヤヒヤ首相，メ サヘル外務大臣と会 談。合同委員会開催。
-----------	------	------------------------------------	--------------------------------------